



写真左から那須ライフ(株)三菅敦取締役、平山町長、薄井町議会議員(当時)

起工式

黒田原地区定住促進住宅 愛称も決定



2月22日、新婚・子育て世帯向けに町が整備する「黒田原地区定住促進住宅」の起工式が行われました。町、工事関係者、地元自治会長など28人が参加し、工事の安全を祈る神事などを行いました。

平山町長は、「子育て環境を整備し、若年層の定住を促進することができるとこの事業は、希望を未来へつなぐ大きな一歩であると考えます」と式辞を述べました。

設計・施工者である那須ライフ株式会社の上菅敦取締役は、「この住宅で安心・安全で快適な生活を送っていただきたい。また、この住宅整備を機に町の人口が増えます。ますます発展されますよう祈念いたします」とあいさつしました。

町が募集していた同住宅の愛称は、30件の応募の中から、「子どもたちが美しい那須で未来に羽ばたく」ことをイメージした「ウイングヴィーナス」に決定しました。



第3弾

なすTeen's RADIO PROJECT

取材編～&生放送編～



愛と努力の結晶「那須和牛」

中学生がRADIO BERRYのラジオ番組制作と生放送に挑戦する「なすTeen's RADIO PROJECT」。今年は、那須中央中学生5人と那須中学生2人の生徒が参加しました。

テーマは「那須和牛」。ワークショップでは、番組パーソナリティのくぼたあやのさんから、滑舌よく話す方法や取材の仕方などを学び、また、自分たちで、那須和牛の特長や、和牛の繁殖・肥育の仕事内容などを調べ、取材でどんな質問をするかを考えました。(2月号27頁掲載)

1月30日、現地取材へ。和牛繁殖農家の大平博一さん(上川)と大平さんの牧場で若手就農者として働いている井上侑紀さん(弓落)に、繁殖の仕事内容を聞き、「発情の見極めが重要なこと」「牛のお産が大変なこと」「毎日牛舎を清掃していること」など、牛に愛情をかけて育てていることを教えてもらいました。

また、肥育と繁殖を手掛けている角田充寛さん(廻り谷)からは、「わらを細かく切ったり、墨の粉やミネラルを入れたりすること」「牛の自家配合していること」「牛がのびのびと過ごしやすいように、牛と丁寧接していること」など、牛の育成における工夫やこだわり、努力していることを聞きました。

最後に、湯本にある精肉店「ミートショップ鶏春」で、那須和牛を取り扱っている大澤秀一さんに、「肥育農家の思いを受け止めて、お客さまに販売していること」「地元のお肉は、地元の方に



食べてほしい」との思いを聞き、那須和牛が食卓に届くまでには、多くの方の努力があり、思いがちながっていることを知りました。2月21日の生放送では、生産者たちの牛に対する愛情や努力、自然豊かな町ならではの飼育環境、飼育の秘訣など、取材で知ったこと、感じたこと、考えたことを自分の言葉でリスナーに伝えました。那須中央中3年の相馬心結さんは、「話すことが好きなので、この企画に参加しました。分かりやすく伝えることを学び、ラジオの生放送に出て、さらに話すことが楽しくなりました」と話し、充実感を見せました。



変化・多様性を柔軟に考える

2月1日、那須中央中学校で、PTA教養部主催の教育講演会が行われ、脳機能と発達障害について研究している自治医大とちぎ子ども医療センター准教授の門田行史氏が講師を務めました。

この講演には、全校生徒がリモートで参加し、また、YouTube限定で公開した動画を、100人以上の保護者が視聴しました。門田氏は「子どもの多様性を理解する」を題に、刺激を受け取り、思考したり、感情をコントロールしたりする脳の働きと、その刺激への反応が人によりさまざまであることを話しました。また、「漠然と普通の反応を考えてしまうが、発達障がいの子どもは、多様性が強いだけ。目まぐるしい変化がある日常で、色々な刺激に『大丈夫』と思えることが大切、そして、社会には、さまざまな人の反応を『理解する』『許せる』ことが求められていると思います」と話しました。

2年3組の大嶽昌城さんは「変化に柔軟に対応するため、ほかの人の意見を聞くことで自分の成長につなげたい」と振り返り、また、3年3組の田嶋宏丞さんは「変化する社会の中で、学校や寺など昔からあるものは、必要とする多くの人が意見を出し合い、助け合ってきたから今も存在しているのだと思います」と振り返りました。

仕事のことを知り進路選択に生かす

2月9日、那須中央中学校で、新型コロナウイルスの影響により中止したマイチャレンジ（職業体験）の代わりとして、立志式記念「職業セミナー」が実施され、2年生95人が、事業者のブースを回り、仕事についての話を聞きました。

那須町役場、みふじ幼稚園、高久組、ジョイア・ミア、しのぶや、那須ブライゼン、JAなすの、なかがわ水遊園、教員の9事業者の職員・社員らは、「各事業者の主な仕事内容」や「仕事の大変さとやりがい」、「社会に役立つことの大切さ」、「あいさつやコミュニケーションの重要性」等を、経験をもとに生徒たちに伝えました。



おいしいいちご🍓ありがとう

JAなすのから町内の小中学校へ児童生徒と教職員1,650人分のいちご「とちおとめ」が贈呈されました。黒田原小学校では2月18日の給食で提供され、旬の真っ赤ないちごを前に、みんなで手を合わせて元気に「いただきます!」。生産者のみなさんに感謝しながらいただきました。3年の高久柚珠さんは「いちごは大好き。そのまま食べるのがおいしいです」と話してくれました。



3年1組のようす



鬼が怖くない!?



2月2日は節分。伊王野保育園では「鬼もお腹空いていないかな?一緒に遊べるかな?」と園児と話し合い、当日は、鬼にご馳走を振舞ったり、歌ったり踊ったり等、チョッピリ怖かったけどもてなしをして鬼と仲良くなりました。

近場で楽しむ



表紙シリーズ「マイクロリズム」では、那須レジャー施設協会の協力のもと町内で楽しめる観光施設を紹介します

vol.2 お菓子の城 那須ハートランド

ピカピカいちごがおいしい春



クッキーやタルト、ケーキ作りを体験できる「リトルパティシエ教室」

1粒1粒がまるで宝石のようないちご。小ぶりの白いいちごの花の周りをかわいらしく飛び回る

とちおとめのハウスは、高設栽培しているので、立ったまま摘み取ることができ、車いすを利用する方もそのまま入っていちご狩りができます。

春といえばいちご狩り。お菓子の城那須ハートランドの「那須高原農園 いちごの森」は、平成13年に観光農園として、お菓子の城の敷地内にオープンしました。当初は「とちおとめ」の連棟ハウス14棟のみでしたが、その後プレミアムいちごの「スカイベリー」のハウスが5棟増え、今年からは、甘さが特徴の新品種「とちあいか」が4棟始まり、全部で23棟となりました。植え付け面積は、二町歩(3,000坪、9,900㎡)の広さです。



2kmの散策道がある「那須花と体験の森」

・1時間に2回、ハウス入り口を開放して換気。
・利用人数を時間ごとに制限し、密にならないよう調整。など
※各施設でも、入口に手指消毒液を設置するなどの感染症対策を行っています。

ミツバチ。そしていちごの甘い香り。ハウスの中には、春の色々な楽しみがありました。また、同敷地内にある「那須花と体験の森」には、子どもがお菓子作りに挑戦できる教室や、森林浴ができる散策道、色とりどりの花が咲くガーデンなどがあります。春を見つけない外に出てみましょう。



「寒ざらしそば」のおすすめメニューは、鹿沼産の栃木しゃもを使った「栃木しゃもつけそば」

滝のある釣り堀
那須高原 清流の里
住所 高久乙2714-2
☎0287-78-0337
営業時間 お食事11:00~16:00
定休日 木曜日



「滝のある釣り堀 那須高原 清流の里」では、こだわりの「寒ざらしそば」を提供しています。「そばは香りと甘みが命」という代表の高根沢昇さんは、毎年小寒から作業を始めるといいます。今年も1月5日から10日ほど設営のそばの実を川に浸しました。その後、専用のハウス内に敷いたブルーシートにそばの実を広げ、日中2時間おきにかき混ぜ、20日かけて完全に乾燥させました。高根沢さんによると、「冷たい水にさらして乾燥させることで、余分なアクが抜けて甘みが増す」といいます。

店で使うのは「信濃一号」というそば。「うまいことはみんな知っているが、実が小さく収穫量が少ないため、県内で生産する人はほとんどいないのでは」と高根沢さん。この「信濃一号」を、店では宇都宮大農学部附属農場から仕入れていきます。関係者が来店したのがきっかけだといいます。「信濃一号で作る寒ざらしそばは県内でうちだけ。今年は甘みがよく出た」と胸を張る高根沢さん。寒ざらしそばの提供は3月末まで。

麺



滝のある釣り堀
那須高原 清流の里
「寒ざらしそば」



代表の高根沢 昇さん

No.3

今月の人

地域のために活動する人や
団体を紹介します



らくらくサポートセンター那須
サポーター会員

はねだ あつと
羽根田 孝人さん(池田)

「らくらくサポートセンター那須」は、主に高齢者などの通院・買い物などの送迎や、ごみ出し・草取りなどの家事を手伝う有償ボランティア活動をしています。同センターに「サポーター会員」として登録しボランティア活動をする羽根田孝人さんにお話を伺いました。

―活動を始めたきっかけは
社会人になってから、多くの方の支えがあり充実したビジネスマン生活を送ることができたので、退職後は少しでも社会に恩返しをしたいと思っていました。また、地域に溶け込むには地域の人の輪に飛び込むことが一番だと思い、4年前に町へ移住した直後から、那須塩原市内の「らくらくサポートセンター」に登録し活動を始めました。平成30年6月に町内にも事務局が開設されたので、それ以来町内で活動しています。

―課題は

町内では14人のサポーター会員が活動していますが、まだまだ足りません。困っている方を手助けするには1人でも多くのサポーター会員が必要です。ボランティア活動に興味のある方は、ぜひ事務局にお問い合わせください。

―問合せ

らくらくサポートセンター那須(那須まちづくり広場内)
☎080・9020・6210(平日午前9時〜午後5時)

短歌

春息吹顔を出したる落のとう
骨接て入院暮しみつき経ち
季節は移り春が近くに

有坂 進

田中恵美子

◎今月号の遊行柳の投句は該当作品がありませんでした

俳句

神苑の巨石に侍り山椿	鮎瀬 汀
中天を野火にすぎなき日の渡る	松浦 秀文
未黒なる那珂川原の茜雲	中島 慶子
グラウンドに球打つ音や春浅し	中島 君江
陽だまりの道を選んで浅き春	井上 均
春浅し九九の途中で支える児	中込とし郎
落味噌が大の好物たりし父	池田 裕子
落の芽の苦味肴に独り酒	高久 巻江
野の山に命の息吹落のとう	高畑 和子
靴先にふと角ぐめる落の莖	杉本 美風
産まれ出でし赤子の声やふきのたう	丹野 セツ
那須晴れや待ってましたと落の花	井上 博子
もう春と巣箱のひとつ取り替へる	平岡 文子
春風やグラウンドゴルフに会う笑顔	仲川 光風
うららかや眠りさそわれ一時間	津田イツ子
雲流れ田べりに人のあてうらら	長島 啓子
白鳥の巡回飛行群れて飛ぶ	郷 華
即位びなにぶき光を今もなお	越田とみ子
名ばかりの春と書き出す葉書かな	田部井清子

那須文芸

あなたの「声」を聞かせてください

地域の身近な情報や、広報「那須」の感想・意見をお待ちしています。名前と連絡先とともに、郵便、ファクシミリ、電子メールで下記までお寄せください。

■送付先 総務課広報広聴係

〒329-3292 那須町大字寺子丙3-13

Fax 72-1133 ☑koho@town.nasu.lg.jp

那須文芸への出句について

出句は楷書でお願いします。判別できない場合は掲載になりませんのでご注意ください。

また、電話番号の記入をお願いします。

■締切り 3月17日(水)

■俳句の送付先

〒329-3222 那須町大字寺子丙3-166

田中 義郎 ☎72-5044

■短歌の送付先

〒329-3292 那須町大字寺子丙3-13

総務課広報広聴係 ☎72-6901



無料相談会

	日程	時間	場所	内容(対応者)	予約・問合せ
行政相談	3月19日(金) 4月2日(金)	9:00~12:00	ゆめプラザ・那須	行政上の困りごと (平山英夫行政相談委員)	自宅 ☎72-5234
人権相談	新型コロナウイルス感染拡大防止のため当面の間休止します。				保健福祉課 ☎72-6917
交通事事故 巡回相談	新型コロナウイルス感染拡大防止のため当面の間休止します。				県民プラザ室 ☎028-623-2188
心配ごと相談	3月22日(月)	10:00~15:00	ゆめプラザ・那須	身の回りの心配ごと (民生委員2名)	社会福祉協議会 ☎72-5133
不動産相談	3月23日(火)	13:30~15:30	不動産会館県北支部	不動産取引など (相談員2名)	宅建協会県北支部 ☎0287-62-6677
広域無料 法律相談	4月8日(木)	13:30~16:30	トコトコ大田原(3階)	法律上の困りごと (弁護士1名)	大田原市総務課(※1) ☎0287-23-1111
子育て相談	3月13日(土) 4月17日(土)	9:30~16:00	子育て支援センター	子育てで不安なこと (児童家庭相談員ほか)	子育て支援センター(※2) ☎71-1137
こころの健康 相談	3月19日(金)	10:00~15:00	保健センター	心身の不調、 人間関係の悩み (カウンセラー)	保健センター ☎72-5858
高齢者の総合相談	月~金曜日	8:30~17:00	ゆめプラザ・那須 保健福祉課	高齢者の介護、虐待、 福祉、健康など (相談内容による)	地域包括支援センター ☎71-1138 保健福祉課 ☎72-6917.6910
障がい等の総合相談窓口	【町委託相談】○指定相談支援事業所ノエル ☎73-5315 ○地域生活支援センターゆずり葉(那須塩原市) ☎0287-63-7777				保健福祉課障がい者福祉係 ☎72-6917

※1 広域無料法律相談：4月1日(木)~7日(水)の期間に電話で予約。

※2 子育て相談：別日の希望がある方はご相談ください。

「ひんとん助言」
1回だけのつもりで申し込んだが、定期購入になってしまったという相談が多数寄せられています。
詳細な契約内容は、「○%オフ」などの目立つ表示と離れた場所に表示されていたり、小さい字

事例
ネットの広告を見て、特別価格約3千円的美容液を購入した。肌に合わず使用をやめたが、商品が再び届き、定期購入だと初めて気付いた。すぐに事業者に解約と返品を申し出たが、「発送日の10日前までに申し出ないと対応できない」と言われた。2回目の商品は1万円以上でも高い。申し込み時には、定期購入だと分からなかった。どうにかならないか
(60歳代女性)



消費の豆知識
販売サイトで契約
内容をよく確認！
定期購入トラブル

で書かれていたりすることがあるため、画面の隅々まで見るなど注意が必要ですよ。
「解約の申し出は次回発送日の○日前まで」などと解約条件が定められている場合も多くあります。注文する際には、解約条件などの契約内容をしっかりと確認しましょう。

困ったときは一人で悩まず相談しましょう。
▼問合せ

○那須町消費生活センター

☎ 0287-6937

○栃木県消費生活センター

☎ 0287-62512227

悪質商法や多重債務などの消費生活に関する相談は、

「那須町消費生活センター」へ!

- 開所日 月曜日~金曜日(祝日・年末年始を除く)
- 時間 午前9時~正午、午後1時~4時
- 場所 那須町役場内1階東側
- 電話 0287-72-6937

「消費者ホットライン」3桁の電話番号188番へ

土日など役場が休みの時にも、相談できる窓口へおつなぎします。(年末年始を除く)

令和3年3月・4月のカレンダー

3月10日～4月9日

3月	
10	水 休館（りぼーる）
11	木
12	金
13	土 子育て相談（子育て支援センター 午前9時30分～午後4時）
14	日 休日当番医診療 立花医院（☎72-0311）
15	月 休館（図書館、スポセン、文セン、探訪館、ドーム）
16	火 休館（ゆめプラザ・那須）
17	水 休館（りぼーる）
18	木
19	金 行政相談（ゆめプラザ・那須 午前9時～正午） こころの健康相談日（保健センター 午前10時～午後3時）
20	土 休日当番医診療 緑の杜クリニック（☎67-3339）
21	日 毎月第3日曜日は家庭の日です。 ～家庭のきずなを深める日としましょう～那須町教育委員会 休日当番医診療 なすのクリニック（☎60-5211）
22	月 心配ごと相談（ゆめプラザ・那須 午前10時～午後3時） 休館（図書館、スポセン、文セン、探訪館、ドーム）
23	火 不動産相談 （不動産会館県北支部 午後1時30分～3時30分） 休館（ゆめプラザ・那須）、探訪館臨時休館
24	水 休館（りぼーる）、探訪館臨時休館

25	木 探訪館臨時休館
26	金
27	土
28	日 休日当番医診療 那須高原クリニック（☎67-2701）
29	月 東京2020オリンピック聖火リレー 休館（図書館、スポセン、文セン、探訪館、ドーム）
30	火 休館（ゆめプラザ・那須）
31	水 休館（りぼーる）
4月	
1	木
2	金 行政相談（ゆめプラザ・那須 午前9時～正午）
3	土
4	日 休日当番医診療 田崎医院（☎72-0111）
5	月 広報那須4月号発行 休館（図書館、スポセン、文セン、探訪館、ドーム）
6	火 休館（ゆめプラザ・那須）
7	水 休館（りぼーる）
8	木
9	金

※休館案内 表示と問合せは以下のとおりです。

図書館：那須町立図書館（☎72-5840）、スポセン：那須町スポーツセンター（☎72-5959）、文セン：那須町文化センター（☎72-6565）、探訪館：那須歴史探訪館（☎74-7007）、ドーム：那須スイミングドーム（☎72-6788）、ゆめプラザ・那須：那須町子ども未来課（☎72-6959）、りぼーる：りぼーる・たなか（☎73-5347）です。

※検診等は保健だより(12頁)をご覧ください。

※内容等は変更になる場合があります。

広報那須4月号 4月5日(月)発行

3月の納税

・入湯税（毎月15日まで）

納め忘れの町税はありませんか？今一度ご確認ください。

○納税は便利な口座振替で！ ○コンビニでも納められます。

○クレジットカード納付や、LINEPay、PayPayでの納付もできます。

（クレジットカードの納付は町県民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税のみ納期限内に限ります。詳しくは税務課まで☎72-6904）

毎週水曜日に夜間延長窓口を開設しています

■開設課（本庁）

○住民生活課（☎72-6908）

○保健福祉課（☎72-6910）

○税務課（☎72-6936）

■開設時間

午後5時15分～7時

※水曜日が祝日の場合は木曜日に開設

那須平成の森だより

自分だけの自然に出会う

第9回 「一般団体向けプログラム」

那須平成の森には、希望に応じて内容や時間、コース等を設定し実施する団体向けの有料プログラムがあります。1年間に約80団体、約2,000人が参加します。参加者は、小中学校や旅行会社が企画するツアー、山歩き同好会、社会教育団体、企業研修など、多岐に渡ります。

このプログラムでは、参加者が「ガイドウォーク」または「自然体験」を選択します。「ガイドウォーク」は、インタープリターが自然の仕組みやここに生息する生き物たちの生活史を紹介するもので、最も分かりやすいプログラムです。

一方、「自然体験」は、参加する一人一人の感性をより尊重するプログラムで、私たちは重要な活動と捉えています。例えば、『色探し』というアクティビティ。見本の色カードを渡して、その色と全く同じ色の自然物を探してくる活動です。

色名の情報だけで探す場合もあります。「利休鼠（りきゅうねず）」という色は、葉茶の緑みを形容したもので、緑みがかったグレ

イをいう。日本のような湿気が多い気候では霧（きり）や靄（もや）が立ち込め、草木の緑も遠くからはこのような色に見えることがある。この情報をもとに、実際に利休鼠の色を探しに行きます。グループで行うと、あてもない、こうでもないと案外大人でも盛り上がるのです。

このアクティビティのねらいは「自然を詳細に観察すること」、「自分や他者の価値観を共有すること」。

自然を理解するためには、知識だけでなく「センスオブワウン（不思議さを受容する感

大人も夢中になって探します!



大人も夢中になって探します!



「日本の伝統色」と同じ色は、自然の中にあるかな?

性」があれば、さらに豊かに自然からのメッセージを受け取ることができます。特別な自然ではなく、ご自身の身近な自然を新たな視点で発見してほしい、その先に自分自身の自然に対する感性や価値観を育ててほしい、それらがプログラムを通して、私たちが伝えたいことです。

那須平成の森フィールドセンター
インタープリター 若林千賀子



「Think CIVILITY (礼儀正しさ)」という本を読んだ。本の著者はクリスティーン・ポラスという米国の大学の准教授で、「愛する父が長年に渡って、無礼な上司に苦しめられる姿を見たこともあって、職場の無礼を研究することに人生を捧げることを決めた」という。

▼ポラスの調査によると、職場で誰かから無礼な態度を取られていると感じている人のうち、約50%の人は仕事にける労力や時間を意図的に減らすという。少し驚いたが、自分が尊重されず価値ある存在と認められなければ、仕事に対するやる気を失うのはもったもただろう。また、直接、理不尽な扱いを受けた本人だけでなく、それを見ていた周囲の人の集中力や思考力が落ちるとい調査結果もあった。

▼ポラスは、「無礼な態度に よって人や組織が被る損失は一般に思われているよりはるかに大きい」という。▼その態度が礼節あるものか無礼かは、受ける側の感じ方にもよるだろう。だから意図せず相手を傷つけてしまうこともある。▼それでは礼節ある態度を取るためにどのような行動すればよいか。ポラスは大切な3つの基本行動があるという。笑顔で、相手を尊重し、話に耳を傾けるといいうもの。心に留めて過ごしたい。

こんにちは 赤ちゃん



令和元年12月26日生

父 悠馬さん
母 綾香さん

冬羽くんは…
将来はマラソン選手です。みなさん応援よろしくお願ひします。

「こんにちは赤ちゃん」コーナーの写真を随時募集しています。
詳しくは総務課広報広聴係(☎72-6901)まで。

町の世帯と人口 (2月1日現在・住民基本台帳) ()の数字は前月比

•世帯数	10,426世帯 (+3)	出生	8人 (+ 3)
•人口	24,744人 (-12)	死亡	35人 (+ 5)
	男 12,319人 (-2)	転入	71人 (-21)
	女 12,425人 (-10)	転出	52人 (- 2)
		その他	6人
		()内は1月1日との比較	